

西荒屋小学校だより

学校評価号

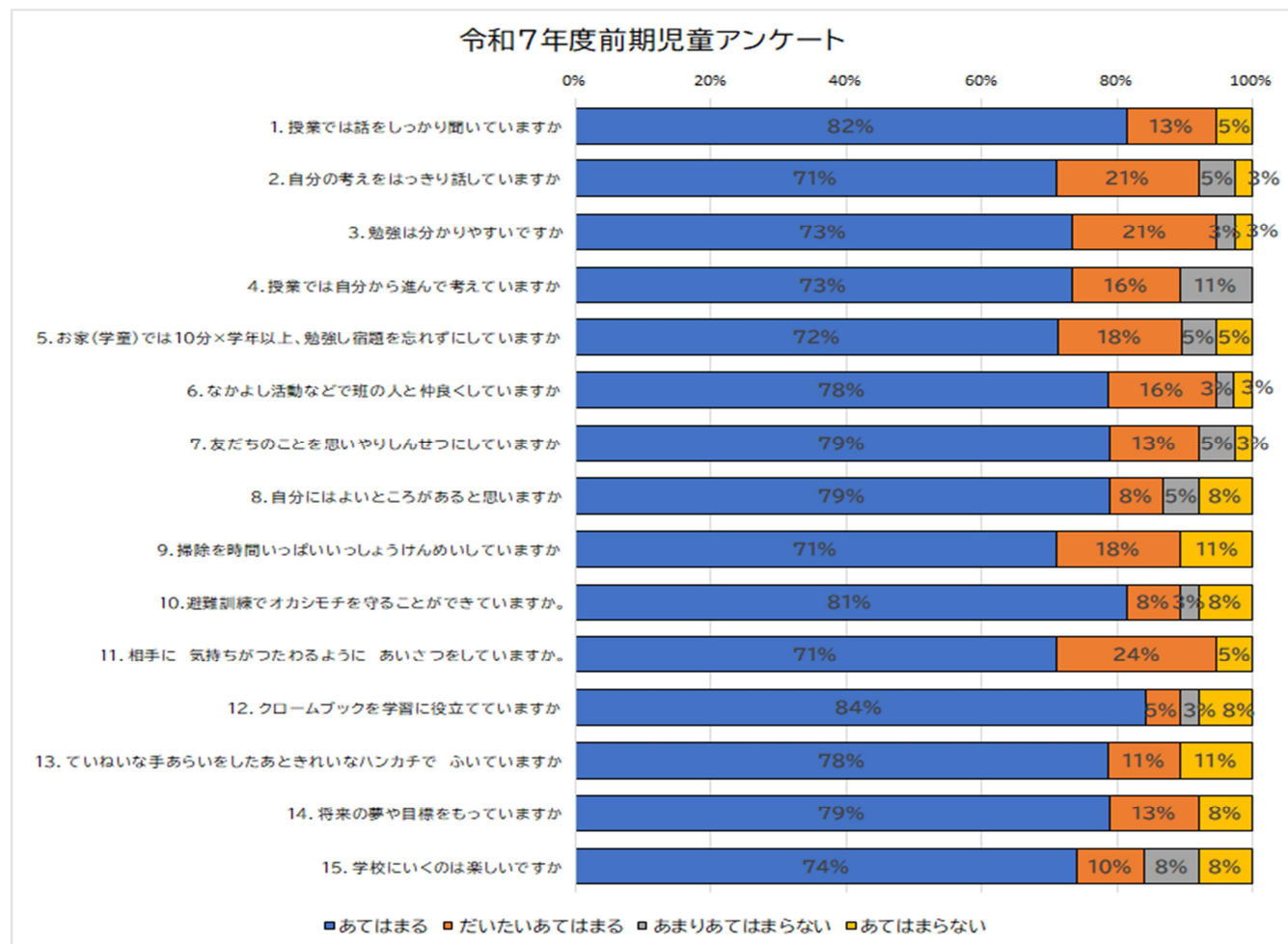
校 訓「至 誠」

教育目標「豊かな心を持ち、たくましく生きる児童の育成」

令和7年9月22日 西荒屋小学校

前期学校評価アンケート結果について

保護者の皆さまには、ご多用の中アンケートにご協力をいただきありがとうございました。
前期の児童アンケート・保護者アンケート結果を以下のとおりご報告いたします。



◎肯定的評価の割合が高い項目(A+B 評価が90%以上)になっている項目)

・「授業では話をしっかり聞いていますか」について肯定的評価(A+B)が95%となっています。
「聞く力」は、学習内容を理解する上で重要なスキルです。さらに「聞く力」を意識することにより、コミュニケーションの質が向上し、より深い関係性を築くことが可能になると考えられます。つまり、話を聞くことが上手な人は、相手の意見を尊重し共感を示すこととなり、周囲からの信頼につながるということです。学校では、授業中はもちろん朝の会や帰りの会、学級活動の時間など様々な場面を捉えて「聞くこと」の大切さについて子供達に指導しています。今後も指導を継続していきます。

・「自分の考えをはっきり話していますか」について肯定的評価(A+B)が92%と高くなっています。本校では「生き生きと表現し主体的に学ぶ子」を研究主題として学校研究に取り組んでいます。特に今年度は「表現力」の育成に力点を置き、朝学習に「トーキングタイム」という時間を設け、話す力を高めることができるよう取り組んでいます。話すことに苦手意識をもつ児童も若干見られますが、今後も、授業中はもちろん、様々な活動を通して「人前で話す」場を設け、さらに「自分の考えをはっきり話す」ことができるよう働きかけていきます。

・「勉強はわかりやすいですか」の肯定的評価(A+B)が94%となっています。言うまでもなく学校生活の上で最も割合が高いのが「学習」する時間、授業時間です。「勉強がわかりやすい」ということは、それだけで学校生活へのモチベーションが上がります。日々の授業の中で「わかった」「できた」と実感できることはそのまま児童の自信につながります。これからも子供達から「わかった」「できた」という声が聞かれるような授業づくりに取り組んで参ります。

・「おうちでは10分×学年以上勉強し、宿題を忘れずにしていますか」の肯定的評価(A+B)が90%となっています。家庭学習の大切さはいまでも言うまでもないと思います。学校で学習した内容の定着のためというのはもちろんですが、学習を習慣化させるという点からも重要です。また、計画性を養う上でも効果的であると思います。ご家庭でも引き続き家庭学習へのお声かけをお願いいたします。

・「なかよし活動などで班の人と仲良くしていますか」の項目の肯定的評価(A+B)が94%となっています。本校のよさは、児童一人一人がお互いをよく知っていることです。児童自身も本校のよさとして認識しているところです。それが大変よく現れている結果だと思えます。今後も児童がお互いを認め合い、良好な人間関係がより深まるような活動を工夫し取り組んでいきます。

・「友達のことを思いやり親切にしていますか」の項目の肯定的評価(A+B)が92%となっています。道徳科の研究発表をきっかけとして、学校行事や児童会行事を実施した際「にしっこシート」で子供達一人一人がふり返りを行い、その文章の中に表れた「親切・思いやり」の記載について教師が価値づける取組を続けています。その成果の表れであると考えます。

・「相手に気持ちが伝わるようにあいさつをしていますか」の肯定的評価(A+B)が95%でした。挨拶の効果は世界各国で科学研究が行われており、様々な研究の結果から「信頼関係の構築効果」「ストレス軽減効果」「認知機能向上効果」「組織パフォーマンス向上効果」等の効果が期待できることが実証されているそうです。挨拶をすることはよい効果こそあれ、悪いことは一つもないようです。今後も明るく元気な挨拶が響く学校になるよう努めていきます。

・「将来の夢や目標をもっている」の肯定的評価(A+B)が92%となっています。言うまでもなく子供達が夢や目標をもつことは実に大切なことです。その夢や目標によって生き方の方向性が決まるといえるからです。「夢や目標」というとたいそうな感じがしますが、単に「やってみたい」「興味関心があること」ととらえてもいいと思います。やりたいこと、興味関心があることはつまり自分の才能のありかを示していると思います。「好きなこと」「興味があること」に向かえる力をつけていきたいと思えます。

■肯定的評価が低い項目

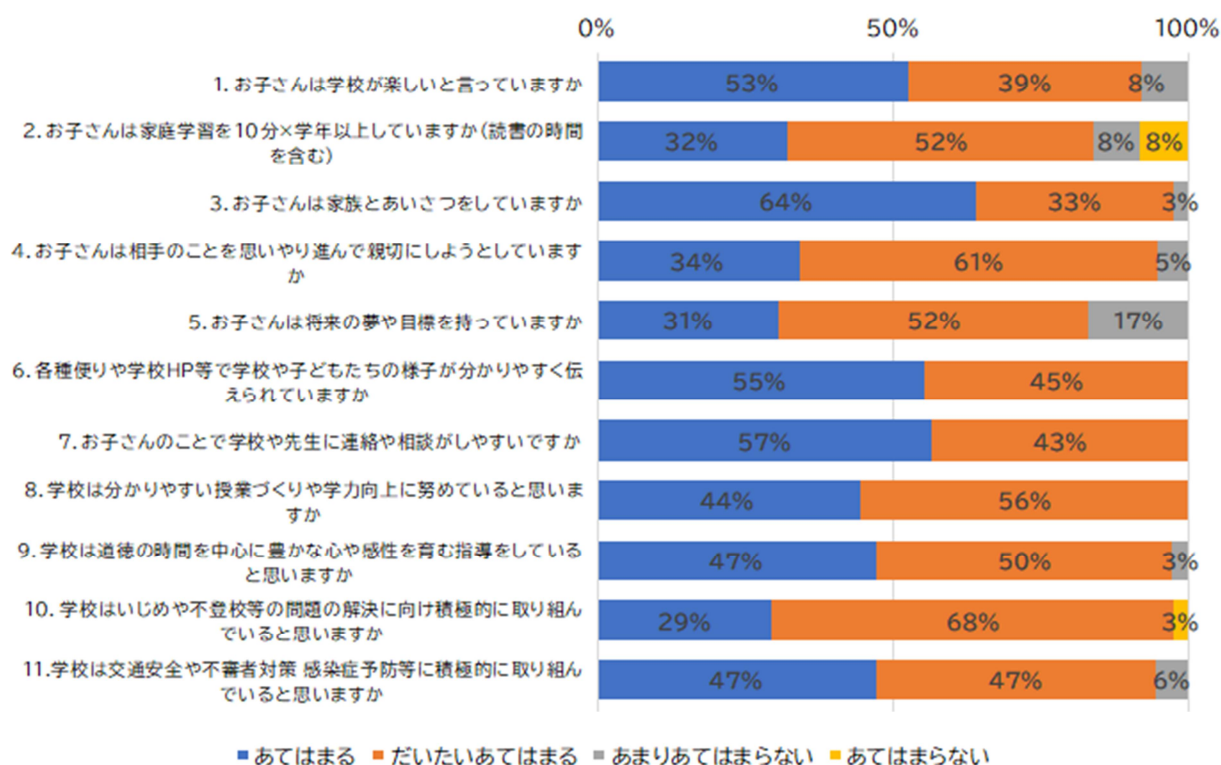
以下の項目がA評価+B評価で90%未満となりました。

「授業では自分から進んで考えていますか(A+B 評価89%)」の項目については、授業において受け身になっていると感じてのことだと思われます。現行学習指導要領では「主体的・対話的で深い学び」が求められています。その「主体的」の部分です。授業の中で子供達の「主体性」を育めるよう様々な取組を行っています。

「自分にはよいところがあると思いますか(A+B 評価87%)」の項目については、自分に自信がもてなかったり自己肯定感が十分感じられなかったりすることに起因していると考えられます。今後、より一層一人一人の児童のよさに目を向け「褒め、認め、価値づける」ことを大切にし、自己肯定感を高められるよう努めていきます。

また、「学校に行くのは楽しいですか(A+B 評価84%)」の項目は例年と比べるとやや残念な結果となりました。震災による慣れない環境、対人関係のストレス、学業成績、学習理解度等、要因は様々な考えられます。環境については改善が難しい面がありますが、そのほかについては対応策を考えることも可能かと思われます。子供達の様子をしっかりと看取り、状況に応じて適切な対応をとること、また、授業の充実を図り「わかった」「できた」「楽しかった」と思える授業を積み上げていきたいと思えます。

令和7年度前期保護者アンケート



◎肯定的評価の割合が高い項目(A評価+B評価で95%以上になっている項目)

※大変ありがたいことに、ほとんどの項目においてA+B90%を超える評価をいただいています。

・「各種便りや学校HP等で学校や子供達の様子が分かりやすく伝えられている(100%)」「お子さんのことで学校や先生に連絡や相談がしやすい(100%)」について大変高い評価をいただいています。学校と家庭の連携は、子供達の健やかな成長に最も大切な車の両輪であると考えます。今後もこまめなHPの更新、また、より相談しやすい学校を目指し努力して参ります。気になることがございましたらいつでもご連絡ください。

・「学校は、分かりやすい授業づくりや学力向上に努めていると思う(100%)」「学校は道徳の時間を中心に豊かな心や感性を育む指導をしている(97%)」と学習指導の面についても高評価となっています。学力をつけることは学校の大切な使命です。今後も子供達の学力の向上に、また道徳的実践力を高めることに尽力いたします。

・「お子さんは相手のことを思いやり進んで親切にしようとしている(95%)」の項目も高い評価となっています。本校では前述の道徳の時間に限らず、全教育活動を通して「思いやりの心」を育めるよう取り組んでいます。本校は人数が少ないため、全校での活動が多くあります。そのような異学年交流の中からそれぞれの発達段階に応じた「相手のことを考えた行動」がとれるようになっていきます。今後も全校で取り組む活動を随時取り入れ、「思いやりの心」を育んでいきたいと思ひます。

・「お子さんは家族と挨拶をしている(97%)」の項目も高い評価となっています。小さなころから挨拶をし、社会性を身につけることは大変重要であると考えます。ご家庭で「挨拶」の習慣が自然に身につくよう、引き続きお声かけをお願いいたします。

■肯定的評価が低い項目・気になる項目

・「お子さんは家庭学習を 学年×10 分以上していますか(A+B 評価84%)」の項目は9割は超えないものの概ねよい評価と思えますが、**A 評価が3割台**というところが気になります。家庭学習が習慣化されれば、学習内容の定着が見込め、より学習に向かう意欲が高まり、好循環が生まれます。家庭学習の習慣付けは、小学校低学年から始めるのがおすすめです。小さい頃から家庭学習をすることが当たり前になってしまえば、中学生になっても無理なく勉強ができます。子供達の成長を長い目で見て、学習の習慣をつけてあげられるよう、ご家庭でもお声かけをお願いいたします。(子供達の A 評価と保護者の A 評価に大きな隔たりがあるのが気になりますが・・・)

・「将来の夢や目標をもっている(A+B 評価83%)」の項目についてよく言われることですが、目標をもつことで「意識」が変わります。「意識」が変われば「行動」が変わります。つまり「自分をよい方向に変えることができる」というわけです。そして、目標を達成したとき「満足感」が得られます。小さな目標でも大丈夫です。ご家庭でも、子供達が「満足感」「達成感」を味わえるようお声かけをお願いいたします。

・「学校はいじめや不登校等の問題の解決に向け積極的に取り組んでいる(97%)」の項目につきましては高評価ではありますが、今後一層大切に取り組んでいく必要がある内容であると認識しています。「いじめや不登校」の問題は解決に向け取り組む以前に、問題を起こさない「未然防止」の部分が大切になります。学校自体がそのような問題が起こらない場所となるよう努めて参ります。

◆ご意見等◆

- これから今やったださっているような感じで、西荒屋小の特色などを広く打ち出して、いろいろな場所に案内など出していただけたらと思います。
- いつもありがとうございます。いつも温かく、見守りながらご指導をいただき、本当に感謝しています。
- オーガニック給食になると嬉しいです。アレルギーの子の代替え食の準備も大変と聞くので、小学校で対応してもらえたら、送り迎えも苦ではないかなと思います。また河北潟周辺にはオーガニック野菜農家さんが何軒かありますし、西荒屋の空いた土地で無農薬無化学肥料で作ってくださる農家さんがいらっしゃったら地域の活性にも繋がるのではと思います。
- 人数がどんどん減っている状況なので、小規模だからこそできる教育をさらに期待しています。
- 特に将来圧倒的に必要になる英語力を小学校生活で自然に身に付けられたらどれ程いいでしょうか。毎日、英語圏の先生が常駐して会話する、英語での絵本の読み聞かせをする、始まりの会や終わりの会などを英語で進行するなど。送迎してでも送りたい保護者はさらに増えると思います。よろしくお願いします。
- いつもお世話になっております。お忙しいとは思いますが毎月の学校便りをもう少しはやく送信して頂けるとありがたいです。
- 家族の手紙、テトルでは前もお知らせがありましたが、学校で書いて持ってくるのかと思ったら学校では書かず、金曜日に持ち帰って月曜日までに持っていけないといけないというのは子どもにも親にもきつかったです。学校での取りまとめはいるとしても応募期間は長いのに疑問です。学校で書かないなら用紙が来たらすぐに欲しかったです…
- 運動会や参観日などで、親子でスポーツできる機会があれば素敵だと思う(去年のサッカーも盛り上がった)他県でもしているが親も綱引き リレー 玉入れ 大玉転などがあればより盛り上がる。
- いつも子ども達のためにありがとうございます。
- 鶴小に来てから、1年半が経過し、やっと西小に戻れる希望が出てきて安堵しています。これまでの子ども達や先生達の努力と忍耐力のたまものだと思います。ですが、表面上は明るくても、心の中で傷ついている子もいるはずです。それを親が見逃さないのはもちろんの事、色々な方向から手助けしてくれる人達が必要だと思います。人手不足を理由にせず、役場の方には動いてほしいと思います。その先に、また地域で見守られる西小に戻れると思っています。

■ご意見、ありがとうございます。ご批判等につきましては、真摯に受け止め改善に努めて参ります。震災から1年半、鶴ヶ丘小学校での生活にも慣れてきたとはいえ、間借りしている状況には変わりがなく、それなりに不便さやストレスを感じながらの生活が続いています。そのような中でも子供達ののびのびと活動し成長していく姿を見ることが、職員にとって何よりの喜びです。現在、西荒屋小学校の将来が見通せない状況にありますが、震災後の今だからこそ学校のこれからの姿についてしっかりと考えていく時であると感じます。このアンケートでいただいたものも含め、引き続き、保護者の皆様のご意見も伺いながら、未来を見据えた学校運営に取り組んで参ります。